

防災リーフレット利用手引き

東北大学災害科学国際研究所 防災行動変容プロジェクト

Ver.1.0 2026年2月4日
Ver.1.1 2026年4月17日

- 防災行動変容プロジェクトの概要 3
- 提供可能な防災リーフレット 5
- 利用方法に関する注意事項、お申し込み手順など 11

防災行動変容プロジェクトの概要

- **プロジェクト実施期間**：2024年4月～2029年3月
- **主要助成プログラム・課題名**：
 - プログラム：災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第3次）
 - 課題名：南海トラフ地震のリスクに対する住民の行動変容促進のための方法論の研究
- **実施機関**：東北大学災害科学国際研究所、浜松医科大学、静岡大学
- **協力機関**：静岡県、富士市
- **目的**：市民一人ひとりのウェルビーイングのために、防災コミュニケーションを通じて市民および社会の防災行動変容を実現する

プロジェクトホームページ：<https://sites.google.com/view/bosai-behavior-change/>

提供可能な防災リーフレット

- 家具類地震対策リーフレット
- 津波早期避難リーフレット（開発中）

- **開発目的**：家具類の地震対策を促進するための介入試行のツールを制作する
- **アプローチ対象**：主に妊婦・乳幼児世帯
- **開発パートナー**：ソーシャルマーケティングの専門性を有するキャンサーズキャン社と連携
- **開発プロセス**
 - － 行動変容を促すコンセプト・目標設定（ソーシャルマーケティング視点の導入）
 - － 行動焦点の絞り込み（家具・家電対策等）とターゲット層（赤ちゃん世帯等）設定
 - － 静岡県、モニターからの意見収集・改良
 - － 効果検証を見据えた複数パターンの制作
- **補足**
 - － 裏面下部に、利用される自治体・団体様の希望に応じて関連情報を掲載可能
 - － 現在、津波早期避難リーフレットについても開発中

大地震は 起こります

赤ちゃんを守る家具の地震対策しましょう。



地震による怪我の**30~50%**が家具類の転倒、落下、移動が原因



東京消防庁 家具類の転倒・落下・移動防止対策
ハンドブックより

「数分遅かったら、娘はタンスの下敷きになっていたかも。」
2004年新潟県中越沖地震の体験談

地震が起こる数分前まで、2階で遠い部屋をしていた2歳の娘を連れて、下に連れてきました。起きたばかりで驚いてたがっていたので、そのままタンスの下にいたところ、地震が起こりました。翌日から2階でタンスが倒れていることもわからず、わかってからも何も考えず、タンスの下になっていたかもしれないことに気づき、とても反省しました。

東京府 子どもを守る災害対策検討会
「災害体験に学ぶ ―妊婦や乳幼児の保護者に伝えたいこと―」より一部抜粋

東北大学災害科学国際研究所 - 防災行動実務プロジェクト -

(表)

家具の地震対策 Before & After

ビフォー アフター

Before



- 1 ベビーベッドに本棚の上部の本や壁の額縁が落ちてこない?
- 2 ベビーベッドに床上の棚から中身が落ちてこない?
- 3 二段重ねのタンスは転倒しない?
- 4 タンスが転倒すると、ドアが開かなくて避難できなくなるかも?
- 5 本棚が倒れてきたり、本が散らばって足の踏み場がなくなるかも?
- 6 床の端から落ちるものが落ちてこない?
- 7 窓サッシのガラスが割れて飛び散るかも!

After

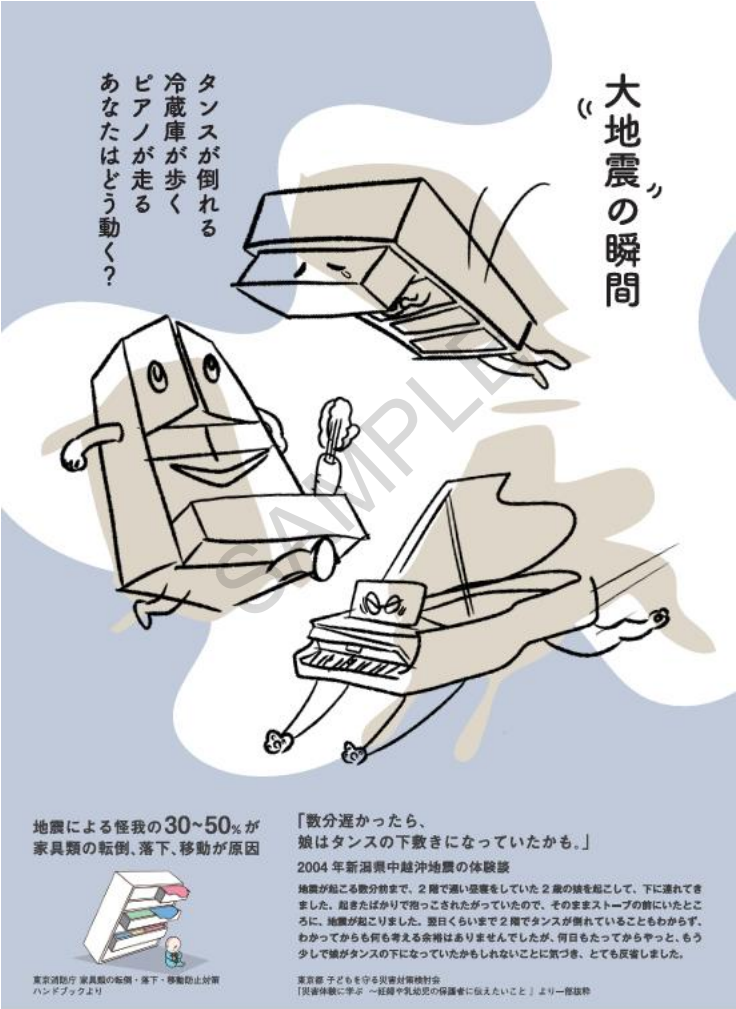


- 1 ベビーベッドの周辺に落下物や転倒物がないようにしたよ!
- 2 床の端にドアロック(耐震クック)を付けたよ!
- 3 タンスは壁に重ねずに横に並べて背を低くして、倒れてもドアを開けやすい場所に移動したよ!
- 4 倒れてドアを開く家具を置かないようにしたよ!
- 5 本棚を横に寝かせて使うことで倒れにくくしたよ! 不要な本は書庫に移動したよ!
- 6 万が一落ちても平気なように、床の端には軽いものだけを置くようにしたよ! ベッドの下に収納ボックスを新しく設置して低い場所に移動したよ!
- 7 窓サッシのガラスには飛散防止フィルムを貼ったよ!

まずは自分のできることから。次の休日に始めませんか。

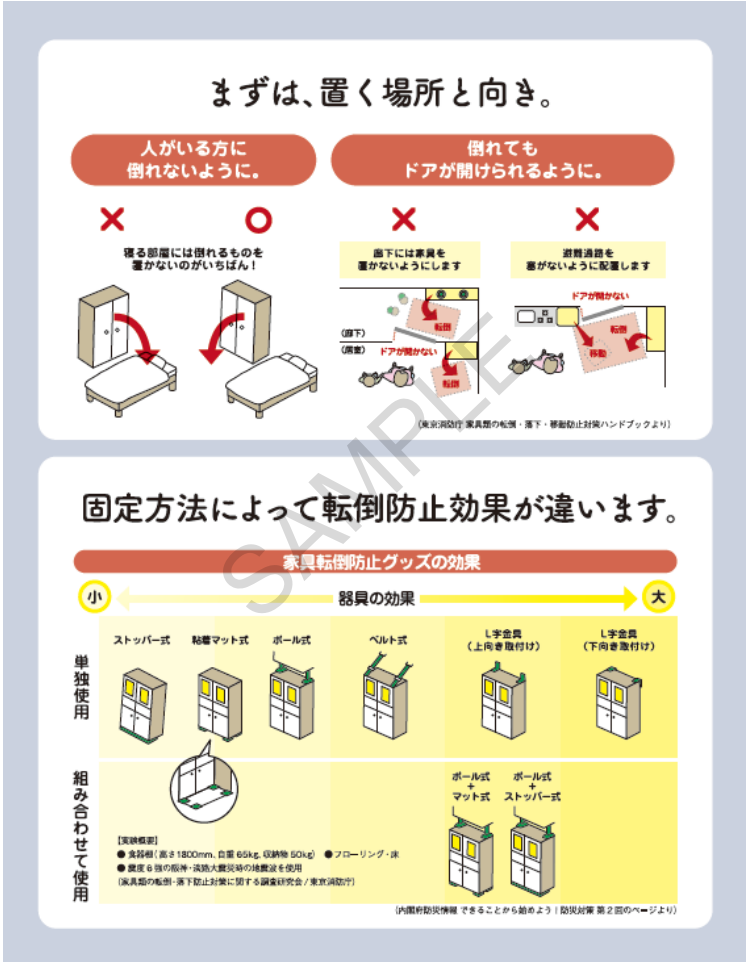
自治体情報

(裏)



東北大学災害科学国際研究所 - 防災行動実習プロジェクト -

(表)



自治体情報

(裏)

- 以下に示す各リーフレット裏面の が可変部です。この部分は、利用される自治体・団体様が掲載されたい情報に応じて編集が可能です。表面は部分使用や改変不可です。

ビフォー アフター
家具の地震対策 Before & After

Before

- 1 ベビーベッドに本棚の上部の本や壁の飾物が落ちてこない?
- 2 ベビーベッドに頭上の棚から本や物が落ちてこない?
- 3 二重窓のタンスは転倒しない?
- 4 タンスが転倒すると、ドアが開かなくて避難できなくなるかも?
- 5 本棚が倒れてきたら、本が散らばって足の踏み場がなくなるかも?
- 6 頭上の棚から重たいものが落ちてこない?
- 7 窓サッシのガラスが割れて飛び散るかも!

- 1 ベビーベッドの周辺に落下物や転倒物がないようにしたよ!
- 2 頭上の棚にドアロック(耐震クック)を付けたよ!
- 3 タンスは壁に重ねずに壁に差をつけて背を低くして、倒れてもドアを開かない場所に移動したよ!
- 4 倒れてドアを開く家具を動かさないようにしたよ!
- 5 本棚を壁に固定して使うことで倒れにくくしたよ! 不要な本は普段使わない部屋に移したよ!
- 6 方が落ちて平気なように、頭上の棚には軽いものだけをいれるようにしたよ! ベッドの下に収納ボックスを新しく設置して重い場所に移したよ!
- 7 窓サッシのガラスには飛散防止フィルムを貼ったよ!

After

まずは自分でできることから。次の休日に始めませんか。

自治体情報

まずは、置く場所と向き。

人がいる方に倒れないように。

× 寝る部屋には倒れるものを置かないのがあるぼん!

倒れてもドアが開けられるように。

× 廊下には家具を置かないようにします

× 避難通路を塞がないように設置します

固定方法によって転倒防止効果が違います。

家具転倒防止グッズの効果

	小	器具の効果				大
単独使用	ストッパー式	転倒マット式	ボール式	ベルト式	し字金具 (上向き取付け)	し字金具 (下向き取付け)
組み合わせ使用	ストッパー式 + 転倒マット式		ボール式 + ベルト式	し字金具 (上向き取付け) + し字金具 (下向き取付け)		

【取組事例】
 ● 東京都 品川区 品川区民防センター 品川区民防センター
 ● 東京都 品川区 品川区民防センター 品川区民防センター
 【家具類の転倒・落下防止対策に関する調査報告書 / 東京都防災】

自治体情報

掲載情報例：

- 自治体に関する情報（自治体名、担当課、問い合わせ先、自治体のキャラクターなど）
- 地震対策推進に関する情報（家具固定補助制度、耐震改修補助制度、感震ブレーカー設置補助制度など）
- その他防災対策に関する情報（防災対策に関する相談窓口、地域の防災関連イベント、自治体のハザードマップ・防災アプリ・SNSなど）
- ウェブページへのリンク、QRコードも可

（妊婦・乳幼児世帯向けリーフレット裏）

（一般世帯向けリーフレット裏）

様々な場面での防災コミュニケーションツールとしてお使いいただけます

- 行政場面での活用例：転入・転居手続き時の自治体窓口での配布・掲示、広報紙への同封、防災訓練などの防災関連イベントでの教材・参考資料として配布
- 地域コミュニティでの活用例：町内会・自治会での回覧・配布、まちの掲示板や集合住宅での掲示、地域イベントでの配布
- 教育場面での活用例：幼稚園、保育園の保護者へ配布、学校での配布、PTA・保護者会での配布、生涯学習講座での教材・参考資料として配布
- 子育て場面での活用例：母子健康手帳交付、妊産婦健診、子育て準備教室、乳幼児健診時の配布
- 福祉場面での活用例：地域包括支援センターでの配布・掲示、介護予防教室・フレイル予防教室での配布

実際の活用事例：子育て準備教室

- 自治体が開催する従来の子育て準備教室の講習内容に屋内の地震安全対策を追加し、リーフレットを配布のうえ教室担当の保健師から対策の重要性と方法について説明する。
- 赤ちゃんを守るという動機が高まる時期であるため地震対策の実施が期待でき、また従来の防災チャンネルでリーチできない層にも働きかけることができる。
- 静岡県内のモデル地域において、アンケート調査による効果検証もあわせて本活用方法を実践予定。

利用方法に関する注意事項、お申し込み手順など

リーフレット内容保持について

- リーフレット全体として行動変容を促せるよう設計しているため、指定する可変部以外の内容改変やデザイン変更、一部の切り取りは行わず、表裏セットでそのままご使用ください。
- イラストや文言の著作権は制作者に帰属するため、許可のない改変、部分的な使用はできません。
- 譲渡・転用・転載はお控えください。当初の目的以外での利用や、他の部署・関連機関等での利用を希望される場合は、改めて申請を行ってください。
- 適切なリーフレット活用のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

印刷方法、配布方法について

- 印刷のサイズ、用紙、色に関する細かい規定は設けておりません。ただし、リーフレット本来のデザインおよび情報伝達効果を維持するため、A4サイズのコート紙を使用した両面カラー印刷を推奨しております。
- 本リーフレットは紙に印刷して配布するほか、自治体・団体様のホームページ掲載やアプリ通知など、オンライン上での公開も可能です。

- 本リーフレットのご利用にあたっては、事前の申し込みをお願いしております。
- 利用を希望される場合は、利用方法に関する注意事項をご確認・ご理解いただいたうえで、「防災コミュニケーション協働プラットフォーム」ホームページよりお申し込みください。
- 申し込み内容を確認後、PDFファイルを無償で提供いたします。印刷はご利用になる各自治体・団体様にて行ってください。なお、ご利用方法等によっては、利用条件の調整をお願いする場合があります。
- 原則1週間以内に返信を差し上げますが、それ以上経過しても返信がない場合は、事務局メールアドレスまでご連絡ください。また、利用申請フォームをご利用になれない場合や、その他のお問い合わせがある場合も、事務局メールアドレスまでご連絡ください。
- 毎年度末に、利用状況に関するアンケートにご協力をお願いいたします。

- 本リーフレットをより効果的に活用していただくため、配布対象者の皆様が実際にどのような行動（家具の配置見直しや固定対策など）をとられたかを把握・検証することを推奨しています。
- 活用の成果や効果測定の結果については、今後の研究の参考としてぜひ情報共有いただけますと幸いです。また、より詳細な検証を希望される自治体・団体様には、研究チームより以下の支援を行うことが可能です。
 - － リーフレットの効果的な活用方法の検討
 - － 効果検証のためのアンケート調査の設計や分析